

授業科目：看護教育・管理学特論Ⅰ（2単位）

学習目標：看護教育学の歴史や看護教育制度を理解すると共に、看護学教育の機能や教育方法について学習する。そして、看護の質を向上するための施設内教育や専門職化への継続教育の取り組みと、その課題について検討する。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	20.4.14	月	6	看護教育学の歴史	藤田倫子	多目的室・基礎看護学（3階）・小児看護学（5階）・成人看護学（7階） いずれかの共同研究室
2	〃	〃	7	看護教育制度論	〃	
3	4.21	〃	6	看護教育学組織運営論1	高橋永子	
4	〃	〃	7	看護教育学組織運営論2	〃	
5	4.28	〃	6	看護学教育授業展開論と学習理論1	尾原喜美子	
6	〃	〃	7	看護学教育授業展開論と学習理論2	〃	
7	5.12	〃	6	看護学実習指導論	坂本雅代	
8	〃	〃	7	看護学教育評価論	〃	
9	5.19	〃	6	生涯教育と看護継続教育論1	藤田倫子	
10	〃	〃	7	生涯教育と看護継続教育論2	〃	
11	5.26	〃	6	看護スペシャリストへの教育課程1	〃	
12	〃	〃	7	看護スペシャリストへの教育課程2	〃	
13	6. 2	〃	6	看護教育方法論（プレゼンテーション）	藤田倫子 尾原喜美子 坂本雅代	
14	6.11	〃	6	看護教育方法論（プレゼンテーション）	藤田倫子 尾原喜美子 坂本雅代	
15		〃	7	まとめ	藤田倫子 尾原喜美子 坂本雅代	

使用テキスト

1. 認定看護師および専門看護師教育課程基準・専門看護師教育課程審査要項 2007. 7
2. 杉森みどり・舟島なをみ著 看護教育学第4版 医学書院 2004. 6

参考文献

1. 小島操子・佐藤礼子 がん看護コアカリキュラム 医学書院 2007. 2
2. 舟島なをみ著 看護教育学研究－発見・創造・証明の過程 医学書院 2002. 4
3. 佐藤みつ子 宇佐美千恵子他著 看護教育における授業設計指導案作成の実際 医学書院 2006. 5
4. M. Gaie Rubenfeld, Barbara K. Scheffer 中木高夫 石黒彩子他監訳 クリティカルシンキング看護における思考能力の開発 南江堂 1997. 8
5. Em Olivia Bevis Jean Watson 安酸史子監訳 ケアリングカリキュラム看護教育の新しいパラダイム 医学書院 1999. 12
6. A. H. マスロー著 佐藤三郎・佐藤全弘訳 創造的人間 宗教 価値 至高経験 誠信書房 1972. 7
7. 村山正治編訳 人間論 THE COMPLETE WORKS OF C. R. ROGERS ロジャーズ全集 12 岩崎学術出版社 1967. 3
8. 友田不二男編 伊東博 古屋健治他訳 創造への教育・学習心理への挑戦上 THE COMPLETE WORKS OF C. R. ROGERS ロジャーズ全集 22 岩崎学術出版社 1972. 4
9. 友田不二男編 手塚郁恵訳 創造への教育・学習心理への挑戦下 THE COMPLETE WORKS OF C. R. ROGERS ロジャーズ全集 23 岩崎学術出版社 1972. 4
10. R. J. ハヴィガースト著 荘司雅子監訳 人間の発達課題と教育 玉川大学出版部 1998. 6
11. A. H. マスロー著 上田吉一訳 人間性の最高価値 誠信書房 1973. 8
12. ダニエル. F. チャンブリス著 浅野祐子訳 ケアの向こう側看護職が直面する道徳的・倫理的矛盾 Beyond Caring 日本看護協会出版会 2002. 3
13. 青木宗也編 大学改革と大学評価 JUA 選書第1巻 財団法人大学基準協会 1995. 6
14. 石井紫郎編 転換期の大学院教育 JUA 選書第3巻 財団法人大学基準協会 1996. 2

授業科目：看護教育・管理学特論Ⅱ（2単位）

到達目標：看護管理の考え方と看護組織のあり方、業務分析と業務改善、リスクマネジメント、災害看護管理、看護管理と看護倫理などについて理解する。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	20.4.16	水	6	看護管理の機能と役割	高橋永子	基礎看護学共同研究室(3階) 又は 成人看護学共同研究室(7階)
2	〃	〃	7	看護組織の成り立ち、変革への対応	〃	
3	4.23	〃	6	看護専門職の機能と活動 認定看護管理者制度	〃	
4	〃	〃	7	看護経済と診療報酬	〃	
5	5.7	〃	6	看護管理システム論（1）	齋藤美和	
6	〃	〃	7	看護管理システム論（2）	〃	
7	5.14	〃	6	リスクマネジメント	高橋永子	
8	〃	〃	7	災害看護管理	〃	
9	5.21	〃	6	業務改善事例（プレゼンテーション）（1）	〃	
10	〃	〃	7	業務改善事例（プレゼンテーション）（2）	〃	
11	5.28	〃	6	看護管理者に必要なスキル（1）	平瀬節子	
12	〃	〃	7	看護管理者に必要なスキル（2）	〃	
13	6.4	〃	6	キャリア開発(人材育成)	高橋永子 平瀬節子	
14	6.11	〃	6	組織運営と人材育成の実際	宮井千恵	
15	〃	〃	7	組織運営と人材育成の実際	〃	

参考図書

1. 看護管理学習テキスト（全8巻・別巻）、日本看護協会出版会、2006.
2. Stephen P. Robbins 高木晴夫訳：組織行動のマネジメント、ダイヤモンド社、2006.
3. 中西睦子：看護サービス管理 第2版、医学書院、2002.
4. 武井勲：リスク・マネジメントと危機管理、中央経済社、2000.
5. 村上耕一他：機長のマネジメント、産能大学出版部、1997.
6. 高橋淑郎：医療経営のバランス・スコアカード、生産性出版、2004.
7. 箱田忠昭：「できる人」の時間の使い方、フォレスト出版、2006.
8. 見藤隆子他：看護職者のための政策過程入門、日本看護協会出版会、2007.

授業科目：母子看護学特論Ⅰ（2単位）

到達目標：あらゆる世代の女性及び子どもと家族の健康増進のための課題を探求し明確にする。時代の変化及び日本の歴史的背景・文化、諸理論の理解を基に母性と子どもの課題の具体的な支援のあり方を追求する。

講義回数	開講時期	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	4.18	金	6	オリエンテーション 子どもと家族を取り巻く環境	尾原	母性看護学共同研究室
2	4.25	〃	6	子どもと家族を理解するための理論1 (発達理論1)	〃	
3	5.9	〃	6	子どもと家族を理解するための理論2 (発達理論2)	〃	
4	5.16	〃	6	子どもと家族を理解するための理論3 (セルフケア理論)	川島	
5	5.23	〃	6	子どもと家族を理解するための理論4 (コーピングの理論など)	〃	
6	5.30	〃	6	子どもと家族を援助するための理論5 (ソーシャルサポート理論他)	〃	
7	6.6	〃	6	母と子の絆	宮井	
8	6.13	〃	6	妊娠・出産・育児の歴史的な歩み	濱田	
9	6.20	〃	6	小児専門看護師の役割	武市	
10	6.27	〃	6	今日の周産期医療の実態	濱田	
11	7.4	〃	6	母性看護学における主要な概念	〃	
12	7.11	〃	6	生殖医療の発達に伴う倫理的課題	〃	
13	7.18	〃	6	慢性疾患患児の看護	武市	
14	7.25	〃	6	女性のライフサイクルにおける健康問題 (思春期・妊娠・出産)	北村	
15	8.1	〃	6	女性のライフサイクルにおける健康問題2 (中高年期)、まとめ	北村	

教科書及び参考書

必要に応じて随時提示する。

授業科目：母子看護学特論Ⅱ（2単位）

学習目標：母子の生活における QOL の向上を目指した看護の基礎的検討を行う。母子の自律や自己決定や療養における諸症状や反応について検討し、セルフケアにおける課題の抽出や倫理等について理解を深める。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	H20.4.15	火	6	Current topics in pediatric maternal nursing	植田味佐	小児看護学（5階）の共同研究室
2	4.22	〃	〃	〃	〃	
3	5.13	〃	〃	〃	〃	
4	5.20	〃	〃	〃	〃	
5	5.27	〃	〃	〃	〃	
6	6.3	〃	〃	〃	〃	
7	6.10	〃	〃	〃	〃	
8	6.17	〃	〃	〃	〃	
9	6.24	〃	〃	〃	〃	
10	7.1	〃	〃	〃	〃	
11	7.8	〃	〃	〃	〃	
12	7.15	〃	〃	〃	〃	
13	7.22	〃	〃	〃	〃	
14	7.29	〃	〃	〃	〃	
15	9.2	〃	〃	〃	〃	
16	9.9	〃	〃	〃	〃	
17	9.16	〃	〃	〃	〃	

教科書及び参考書等

- 1) www.voanews.com/specialenglish/
- 2) Longman Dictionary of Contemporary English

授業科目：成人・老人看護学特論 I（2単位）

- 到達目標：1) M・キングの Transaction Theory に基づき人間と環境を捉え、ヘルスプロモーションについて学ぶ。
 2) 環境（生活習慣）及び遺伝と健康について理解する。
 3) 成人期における健康障害の現状について学習し、疾病の自己管理や QOL としての健康について学ぶ。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	4.18	金	7	環境と遺伝と健康（1）	吾妻 健	成人看護学講座成人看護学共同研究室（7階）
2	4.25	〃	〃	環境と遺伝と健康（2）	吾妻 健	
3	5.2	〃	〃	環境と遺伝と健康（3）	吾妻 健	
4	5.9	〃	〃	生活習慣と健康（1）	齋藤美和	
5	5.16	〃	〃	生活習慣と健康（2）	齋藤美和	
6	5.23	〃	〃	認定看護師・専門看護師の役割	齋藤美和	
7	5.30	〃	〃	栄養サポートチーム(NST)の役割	溝渕俊二	
8	6.6	〃	〃	静脈・経腸栄養療法について	溝渕俊二	
9	6.13	〃	〃	栄養療法実践のための症例検討	溝渕俊二	
10	6.20	〃	〃	精神面からとらえた健康（1）	戸田由美子	
11	6.27	〃	〃	精神面からとらえた健康（2）	戸田由美子	
12	7.4	〃	〃	がん看護（1）	山脇京子	
13	7.11	〃	〃	がん看護（2）	山脇京子	
14	7.18	〃	〃	ターミナルケア（1）	青木早苗	
15	7.25	〃	〃	ターミナルケア（2）	青木早苗	

参考書：分子予防環境医学 分子予防環境医学研究会 編 本の泉社
 ストレスの心理学、リチャード・S・ラザルス他著 実務教育出版、1991年初版
 ジュリア・B・ジョージ、訳南裕子他、看護理論集、増補改訂版 ーより高度な看護
 実践のためにー 日本看護協会出版会、1998
 大西和子他編、成人看護概論、ヌーベルヒロカワ、2005年
 系統看護学講座、成人看護学総論、医学書院、2007年

授業科目：成人・老人看護学特論Ⅱ（2単位）

学習目標：地域で治療あるいは療養する成人・高齢者を対象にして、その家族への援助を含めて QOL を維持、向上するための支援について、施策とケアの側面から教授し、健康を障害した成人高齢者が社会で共生できるためのシステムの構築について議論します。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	20.6.4	水	7	高齢者のQOL	片岡万里	地域看護学共同研究室（4階） 又は老年看護学共同研究室（6階）
2	6.11	〃	6	家族介護者のQOL	〃	
3	〃	〃	7	高齢者の尊厳に関する今日の課題	〃	
4	6.18	〃	6	ヘルスプロモーションと健康行動理論(1)	徳川陽子	
5	〃	〃	7	ヘルスプロモーションと健康行動理論(2)	〃	
6	6.25	〃	6	ヘルスプロモーションと健康行動理論(3)	〃	
7	〃	〃	7	テーマ未定	在宅（講師）	
8	7.2	〃	6	テーマ未定	〃	
9	〃	〃	7	テーマ未定	〃	
10	7.9	〃	6	生活習慣と健康(1)	高尾俊弘	
11	〃	〃	7	生活習慣と健康(2)	〃	
12	7.16	〃	6	生活習慣と健康(3)	〃	
13	〃	〃	7	高齢者をめぐる保健福祉活動	高橋美美	
14	7.30	〃	6	テーマ未定	杉本加代	
15	〃	〃	7	テーマ未定	小笠原木綿	

授業科目：看護研究論（2単位）

到達目標：看護研究における研究計画書、質的研究と量的研究のそれぞれに対応した研究デザイン、方法論、文献等の評価、英文論文査読などを通して論文作成の概要について説明できる。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員
1	20.4.17	木	6	看護研究序論	藤田倫子
2		〃	7	文献検索の方法	藤田倫子
3	4.24	〃	6	課題選択・問題設定	藤田倫子
4		〃	7	研究計画書作成・倫理委員会への申請	藤田倫子
5	5.08	〃	6	量的研究におけるデータ収集と分析	藤田倫子
6		〃	7	質的研究におけるデータ収集と分析	高橋永子
7	5.15	〃	6	データの収集・分析・結果・考察	藤田倫子
8		〃	7	研究計画書プレゼンテーション（1）	藤田倫子 野村晴香
9	5.22	〃	6	研究計画書プレゼンテーション（2）	藤田倫子 野村晴香
10	9.04	〃	6	1) 英文看護論文査読 ① 質的研究手法	吾妻 健
11		〃	7	② 問題の所在・文献レビュー・研究方法	吾妻 健
12	9.11	〃	6	③ 研究結果・考察	吾妻 健
13		〃	7	2) 英文看護論文査読 ① 量的研究手法	吾妻 健
14	9.18	〃	6	② 問題の所在・文献レビュー・研究方法	吾妻 健
15		〃	7	③ 研究結果・考察	吾妻 健

1) 使用教科書: Denise F. Polit Bernadette P. Hungler 近藤潤子監訳 NURSING RESEARCH Principles and Methods 看護研究 原理と方法 医学書院 2002. 11

2) 参考文献

(1) Carol Grbich 著 上田礼子 上田敏 今西康子 訳 保健医療職のための質的研究入門、医学書院 2003. 7

- (2) 舟島なをみ 質的研究への挑戦 医学書院 1999. 7
- (3) Immy Holloway Stephanie Wheeler 著 野口美和子 監訳 ナースのための質的研究入門 研究方法から論文作成まで 医学書院 2000. 3
- (4) グレッグ美鈴 麻原きよみ 横山美江 編著 よくわかる質的研究の進め方・まとめ方 看護研究のエキスパートをみざして 医歯薬出版株式会社 2007. 2
- (5) キャサリン・ポーズ ニコラス・メイズ 編集 大滝純司 監訳 質的研究実践が伴う保健・医療サービス向上のために 医学書院 2001. 9
- (6) マデリン M. レイニンガー 編集 近藤潤子 伊藤和弘 監訳 看護における質的研究 医学書院 1997. 6

授業科目：看護理論（2単位）

到達目標

1. 看護学における看護理論の位置づけを学び、これまでに開発された諸理論について理解する。
2. 看護実践の中で応用可能な中範囲理論と基礎となる広範囲理論の概念について理解し、活用法について説明できる。
3. 学生の看護実践の具体的現象を取り上げ、理論を用いて説明できる。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	20.6.16	月	6	1) 看護理論入門 ① 看護の知のパターン ② 経験の表現としての看護理論	藤田倫子	基礎看護学（3階）・成人看護学（7階） いずれかの共同研究室
2	〃	〃	7	③ 看護理論の歴史 ④ 看護理論の概念 ⑤ 看護理論の記述 ⑥ 看護理論家とその理論の特徴 (演習計画)	〃	
3	6.23	〃	6	2) 看護理論 ① 看護哲学 ② 広範囲看護理論 ③ 中範囲理論	〃	
4	〃	〃	7	看護理論家とその理論の特徴（1） discussion	〃	
5	6.30	〃	6	看護理論家とその理論の特徴（2） discussion	〃	
6	〃	〃	7	看護理論家とその理論の特徴（3） discussion	〃	
7	7.7	〃	6	看護理論家とその理論の特徴（4） presentation、discussion	〃	
8	〃	〃	7	看護理論家とその理論の特徴（5） presentation、discussion	〃	
9	7.14	〃	6	看護実践の理論への適用（1） discussion	藤田倫子 高橋永子 坂本雅代	
10	〃	〃	7	看護実践の理論への適用（2） discussion	〃	
11	7.28	〃	6	看護実践の理論への適用（3） discussion	〃	
12	〃	〃	7	看護実践の理論への適用（4） discussion	〃	
13	9.01	〃	6	看護実践の理論への適用（5） presentation、discussion	〃	

1 4	“	“	7	看護実践の理論への適用（6） presentation、discussion	“	
1 5	9.08	“	6	まとめ	“	

* 使用教科書

Ann Marriner-Tomey 都留伸子監訳：Nursing Theorists And Their Work
看護理論家とその業績、第3版、2004.

* 参考書

Julia B. George 南裕子他訳：NURSING THEORIES TheBase
for Professional Nursing Practice 看護理論集 より高度な看護実践のため
に、日本看護協会出版会、2003.

授業科目：看護倫理（2単位）

学習目標：倫理の概念について文化的背景を比較しながら概観し、医療及び看護に関連した倫理の位置付け、看護者の実践活動に関する各種倫理規定、実践の場で遭遇する倫理的ジレンマの抽出及びそれらに対応できる知識を修得する。

講義回数	月日(曜)	時間	テーマ	担当教員	場所
1	4/15(火)	7	看護における倫理の歴史的背景	片岡万里	6階老年看護学共同研究室
2,3	4/26(土)	3,4	「倫理」の概念と医療医倫理	阿部眞司	
4	5/13(火)	7	ナイチンゲールと看護倫理	片岡万里	
5	5/20(火)	7	現代社会における倫理的課題1	〃	
6	5/27(火)	7	現代社会における倫理的諸相2	〃	
7	6/3(火)	7	看護職者に関する各種倫理規定1	〃	
8	6/10(火)	7	看護職者に関する各種倫理規定2	〃	
9	6/17(火)	7	看護研究に関する倫理1	〃	
10	6/24(火)	7	看護研究に関する倫理2	〃	
11	7/1(火)	7	看護職者の直面するジレンマ1	〃	
12	7/8(火)	7	看護職者の直面するジレンマとその検討	〃	
13	7/15(火)	7	看護職者の直面するジレンマの検討	〃	
14	7/22(火)	7	課題発表1	〃	
15	7/29(火)	7	課題発表2	〃	

連絡先

片岡研究室 TEL/FAX：088-880-2538;e-mail:mkataoka@kochi-u.ac.jp

テキスト

日本看護協会編：平成15年版 看護白書、p.3-93,p217-235, 日本看護協会出版会, 2003.

参考文献

- 1) 坪倉繁美編：具体的なジレンマからみた看護倫理の基本,医学芸術社, 2005.
- 2) 岡崎寿美子・小島恭子編：ケアの質を高める看護倫理 ジレンマを解決するために, 医歯薬出版株式会社,2002.
- 3) マーティン・ベンジャミン、ジョイ・カーティス著,矢次正利他訳：臨床看護のディレンマ(1),(2),(3), 時空出版, 2000.

授業評価

課題と授業参加度

授業科目：健康情報論（2単位）

到達目標：保健・医療の分野における情報化の状況を把握する。
 保健・医療の分野における情報化に必要な要素を理解する。
 保健・医療の分野における IT 活用の視点を理解する。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1,2	20.6.05	木	6, 7	医療情報の安全確保 e-Learning による医療専門職者の キャリア形成支援	森川富昭	看護学科棟 保健指導室 (2階)
3,4	20.6.12	〃	〃	求められる保健・医療の情報化	栗原幸男	
5,6	20.6.19	〃	〃	電子カルテの現状、標準コード	〃	
7,8	20.6.26	〃	〃	保健・医療での情報化の手順 保健・医療の情報システム評価	〃	
9,10	20.7.10	〃	〃	医療データベースの活用	〃	
11,12	未定	〃	〃	デジタル通信の活用 マルチメディアの活用	〃	
13,14	〃	〃	〃	看護教育でのコンピュータ活用 AI 活用の可能性と課題	〃	

参考図書：

1. Kathryn J. Hannah, Marion J. Ball and Margaret J.A. Edwards. Health Informatics: Introduction to Nursing Informatics. Springer.
2. 日本医療情報学会 10 周年記念出版編纂委員会. 医療情報学 1～3 巻. (有) ネットワーク.
3. 中野正孝ほか. 系統看護学講座 基礎 8. 情報科学. 医学書院.

授業科目：保健統計論（2単位）

- 学習目標：1) 看護研究を実際に行って収集されたデータの特性について学習する。
- 2) 母集団から抽出された標本データから母集団の特性を推定するために、平均値等の集団の特性値及びその検定手法、比率の検定手法を理解する。
- 3) 看護研究でしばしば用いられる調査票を用いた手法について、社会調査論の立場から実施手技について理解し、得られたデータの収集・解析・評価の実際を学習する。
- 4) 人間の健康や障害に係わる事象と影響する要因との因果関係を推定するための統計手法（二次クロス・三次クロス・多変量解析）を実際に SPSS、Excel 統計等の統計ソフトを用いて学習する。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	20.10.6	月	6・7	保健統計学①データの取扱い	吾妻 健	地域看護学講座・地域看護学 共同研究室（4階）
2	10.20	〃	〃	保健統計学②比率の比較検定	〃	
3	11.10	〃	〃	保健統計学③平均値の比較検定	〃	
4	12.1	〃	〃	基礎統計学, 2群間の比較	高尾俊弘	
5	12.15	〃	〃	分散分析と多重比較	〃	
6	21.1.5	〃	〃	独立性の検定	〃	
7	21.1.26	〃	〃	グラフ作成法	〃	

授業科目：健康環境論（2単位）

- 学習目標：1) 人間の健康に影響を与える要因に対する基本的視座を学び、疾病や障害の発生するメカニズムを理解する。
- 2) 健康要因の中でも特に内部環境（ホメオスターシス）の破綻が人間の健康に与える影響を学習する。
- 3) 環境ホルモンの人体への曝露に関する影響を学び、疾病や異常を引き起こす許容限界の考え方を理解する。
- 4) 人間の健康に影響を与える要因のうち、ストレスのマネジメント、リスクコミュニケーションの実際を数名のグループに分かれて検討し、各グループの考えをプレゼンテーションする。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	20.10.27	月	6・7	ホメオスターシスと健康	高尾俊弘	地域看護学講座・地域看護学 共同研究室（4階）
2	11.17	〃	〃	グループワークとプレゼンテーション	〃	
3	12.8	〃	〃	環境ホルモンと健康	〃	
4	12.22	〃	〃	グループワーク	〃	
5	21.1.19	〃	〃	グループワークとプレゼンテーション	〃	
6	2.2	〃	〃	ストレスと健康	〃	
7	2.9	〃	〃	グループワークおよびまとめ	〃	